かながわ農福連携
推進協会
設立記念フォーラム

農業を食糧と職業に
できる社会へ

NPO法人農スクール　理事長
慶應義塾大学　環境情報学部　特別招聘准教授
神奈川県　認定農業者
小島希世子

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

農スクールが向き合う社会課題

計:330万人

農業界は
基幹的農業
従事者数が
136.1万人
平均年齢：67.8歳
高齢化・担い手不足

ホームレス
4,555人
(2019年)

生活保護受給者
214万人
(H.29)

引きこもり
61.3万人(40-64歳)
(H.31)

引きこもり
54.1万人(15-35歳)
(H.31)

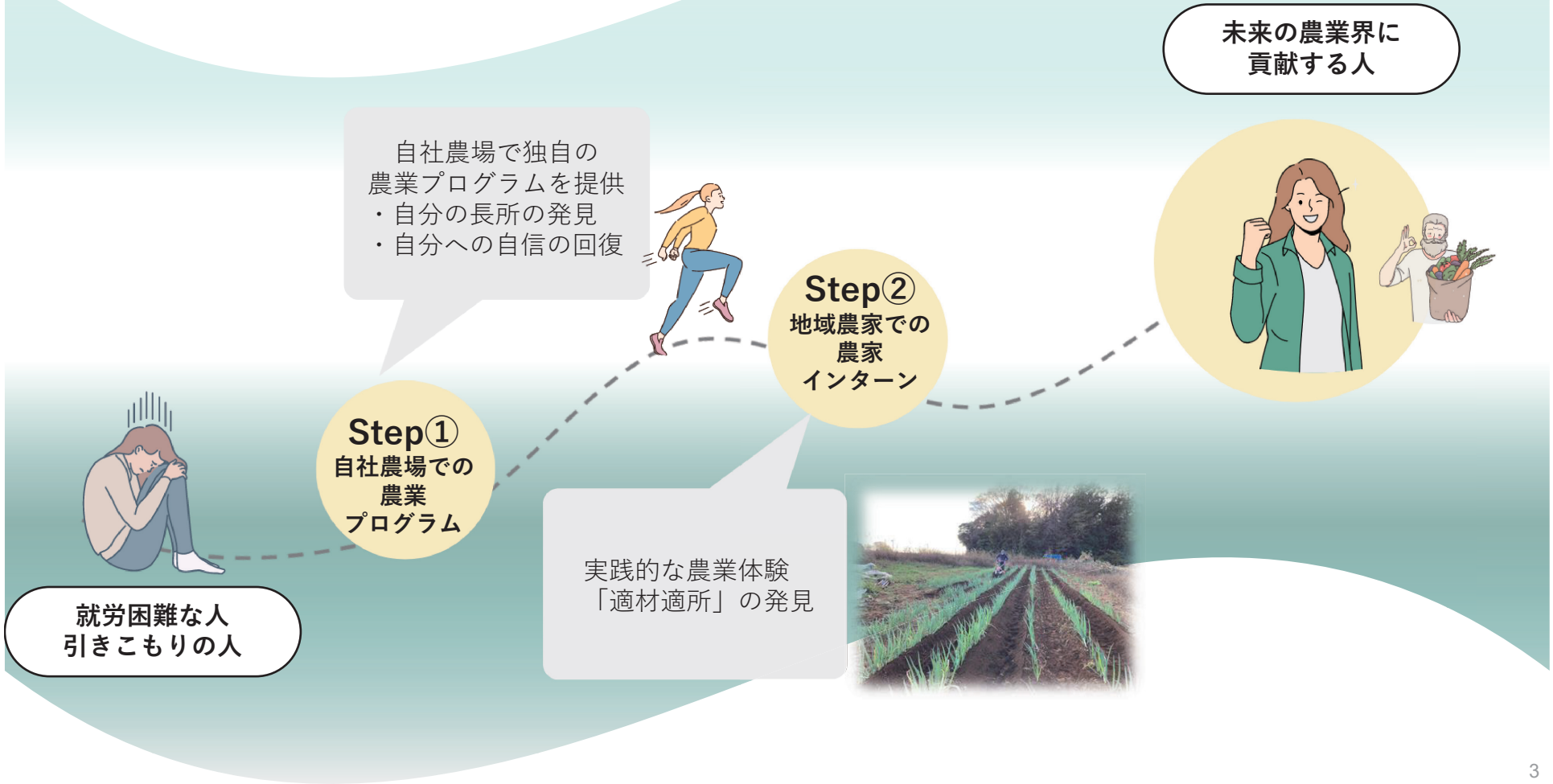
資料：
農林水産省　http://www.maff.go.jp/j
日本経済新聞　https://www.nikkei.com/article/DGXMZO43067040Z20C19A3CR0000/
厚生労働省HP　https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000164401.pdf

2

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

農スクールの取り組み

就農支援プログラムの提供により
働けない状態の人を日本の農業界を支える人材に育成



Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

農業に興味をもったきっかけ

首都圏に出てきて初めて知った ホームレスの存在

5

ホームレスの人たちと一緒に取り組む野菜づくり

この図からあなたは何を想像しますか？

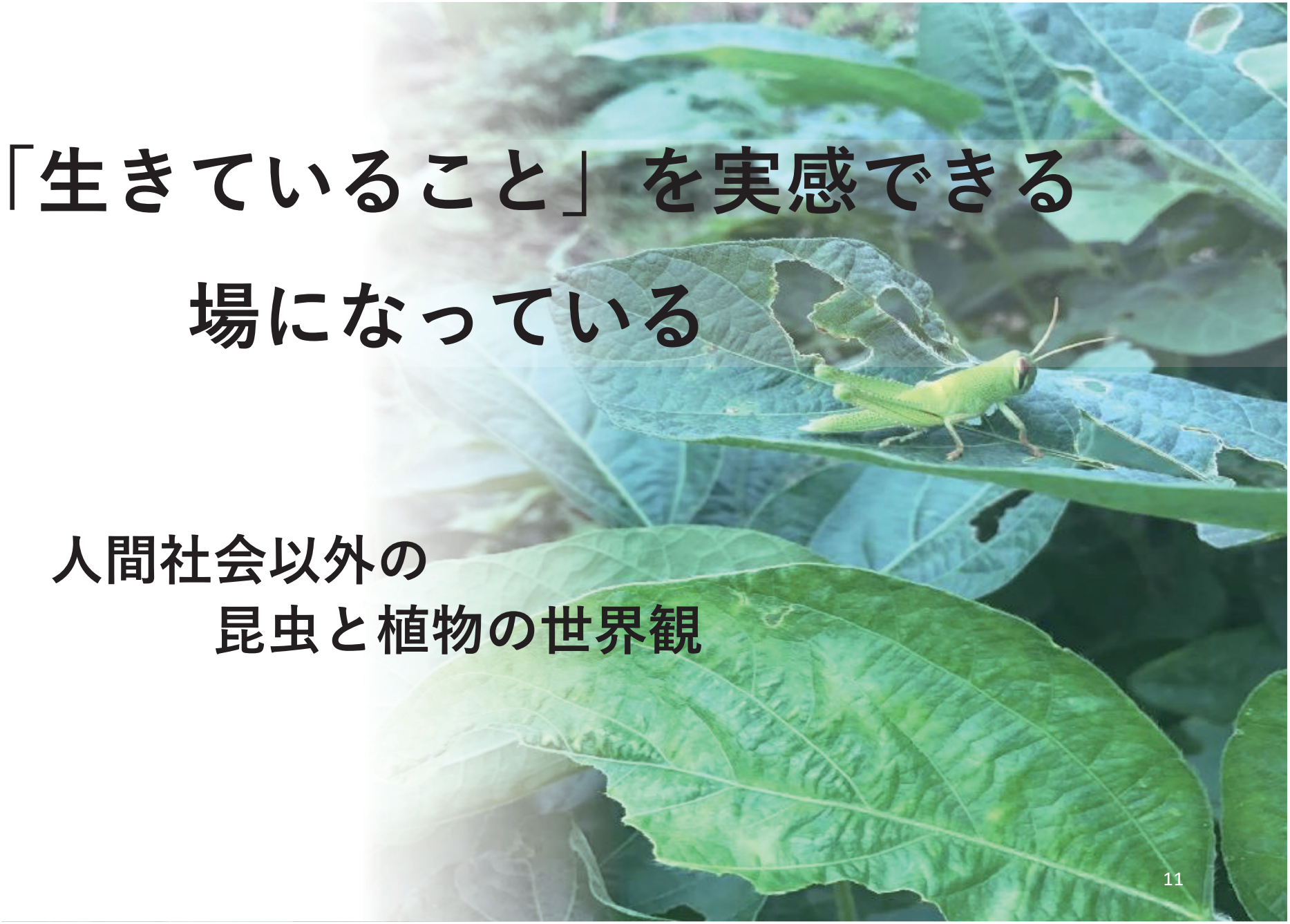
Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

ホームレスのおじさんたちは農業界で即戦力になれる

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

50代の農家の男性(農業法人の正社員)
9

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.



「生きていること」を実感できる場になっている

人間社会以外の昆虫と植物の世界観

11

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

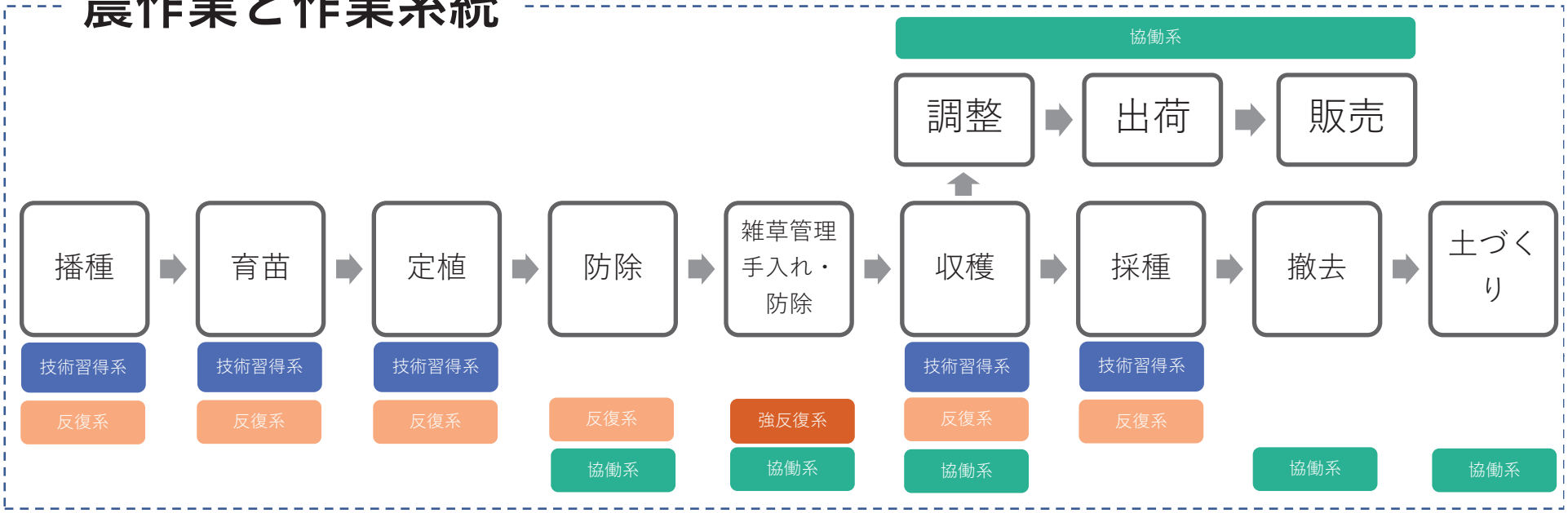
Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

農を食と職に～①長所の発見

▶農作業を 技術習得系 反復系 協働系 の３つにカテゴライズ

▶就労支援対象者の進捗状況に応じて、３つの作業カテゴリをバランスよく組み込んだ能力開発メニューをとして提供することで即戦力となるスキルを身につける

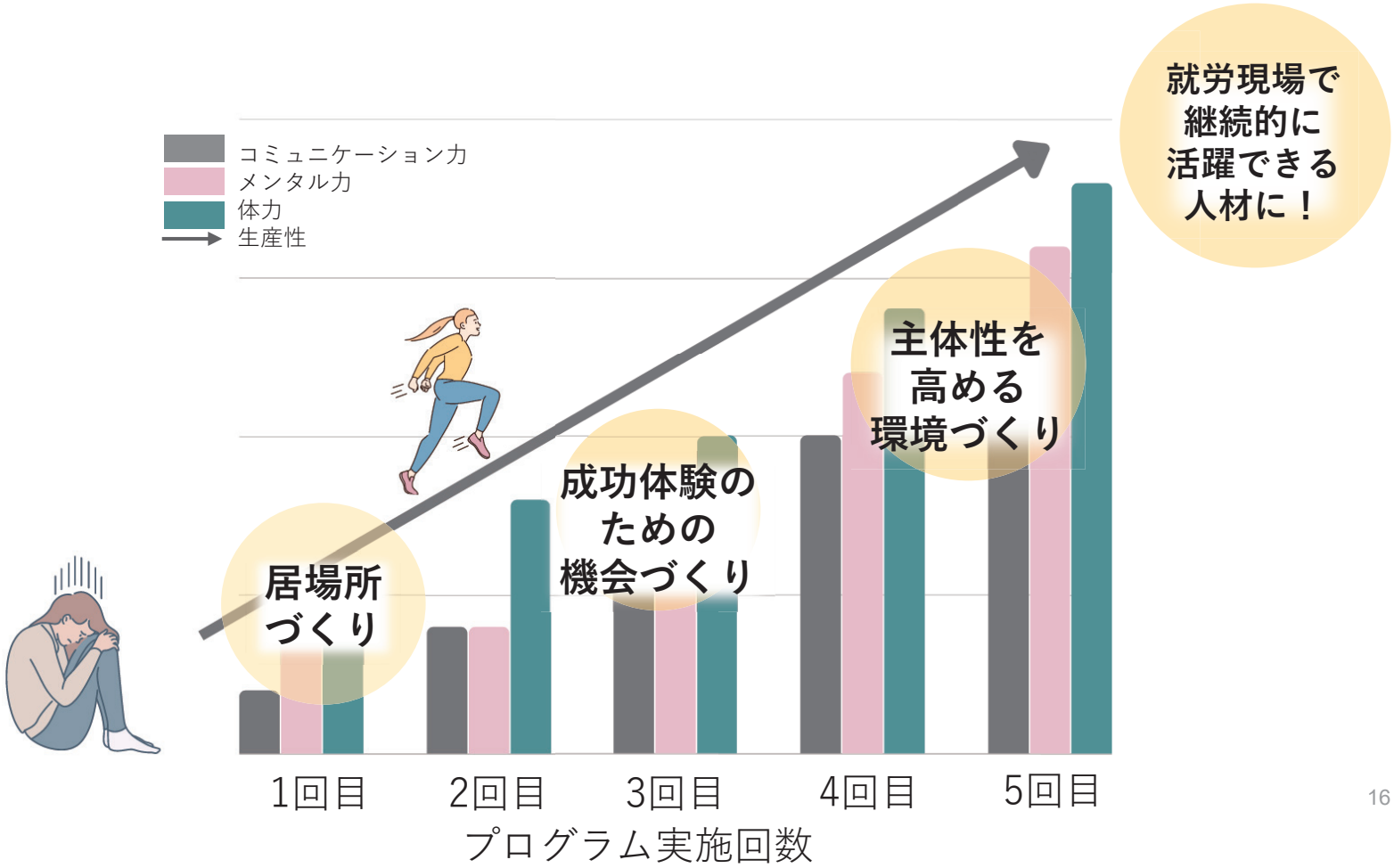
農作業と作業系統



Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

農を食と職に～②長所を伸ばす

▶ 一人ひとりの長所を発見し、**長所を生産性というベクトルに向かって伸ばすことにより“スキル”へ変えていく**ためのプログラムを構築・提供



Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

農を食と職に～③適材適所の実現

▶ 一人ひとりに合った「適材適所」で**農業を食料と職業**にしていく！

Aさん

体力	★
思考力	★★★
スピード	★★★
コミュニケーション力	★
反復練習	★★★★★

→ **袋詰めの仕事**

Bさん

体力	★★★★★
思考力	★
スピード	★★
コミュニケーション力	★★
反復練習	★

→ **畑で作業する仕事**

Cさん

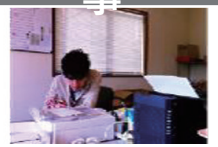
体力	★★
思考力	★★★
スピード	★★
コミュニケーション力	★★★★
反復練習	★

→ **畑を案内する仕事**

Dさん

体力	★★
思考力	★★★★★
スピード	★
コミュニケーション力	★★
反復練習	★

→ **生産管理する仕事**



17

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

「ダイバーシティから生まれる効果」
ホームレス・引きこもり・障害を持たれている方
…みんな同じ畑で一緒に農作業を行うスタイル

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

「ダイバーシティから生まれる効果」
ホームレス・引きこもり・障害を持たれている方
…みんな同じ畑で一緒に農作業を行うスタイル

目的ベース	属性ベース
「農業を仕事に」を目指し、 農業において「自分にできること」に フォーカス	生活の中の「困り事を解決すること」に フォーカス
仕事においての「役割」が生まれる （＋環境をかえることで、短所を長所に変換できる「適所」を発見しやすい）	「短所」をカバーし合う形での助け合いという視点での「自分の役割」が生まれる
生まれた「役割」における長所を さらに伸ばして、 「仕事」という形に持っていく （「困り事」（短所）の改善に時間をかけない）	「困り事」（短所）をさらなる助け合いで、 解消することで社会生活を送る
適材適所で、農業界のビジネスパートナーになる形	「支援する人」が「支援される人」を 助ける形

農スクールはここに特化

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

環境が変われば短所が長所に変わる
「適材適所を極める」

60代男性
元ホームレス
(生活保護受給中)

体力はあるが読み書きができないため、就職先が見つからない

30代男性
過去に精神疾患を患い
引きこもりがち

相手の考えていること
気持ちに敏感になりすぎて、
人付き合いが極度に怖い

本来持っている長所を活かしながら
自分が働ける環境を
農スクールを通して発見する

体力を生かし、
重量野菜の農家に
正社員として就職！

相手(生き物)の気持ちを
読み取る能力を活かし、
畜産の現場に就職！

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

適材適所

適地適作

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

「働く」＝貢献≒農業を通じた社会貢献

▶ 働きづらさを抱える人を、「支援対象者」ではなく、「未来の農業に貢献する人材」としてスキル開発を行うプログラム

働きづらさを抱える人

≠

これまで

助けられる存在

お互いに支え合うビジネスパートナー

人手不足の農家・農業法人

≠

これまで

困っている人を慈善事業で助ける

これから

今の自分にできること、自分の中に眠っている能力を発見し伸ばすことで**農園に貢献し、日本の食卓・農業の未来を作る存在**になる

貢献の御礼の一つの形が「報酬」

これから

彼らの持っている能力で、お客様に貢献し**農園に貢献してもらう**

貢献してもらった御礼の形として「報酬」をお渡しする

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

「支援対象者」
を助ける仕事ではなく、

「仲間」と共に
農業の未来を作っていく仕事

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

H27年　農福連携ー厚労省×農水省

福祉分野に農作業を
～支援制度などのご案内～

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare　農林水産省 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

事例紹介③ 特例子会社による農業を通じた障害者雇用
（ハートランド（株）（大阪府泉南市））

- ○株式会社が障害者雇用促進を目的とした特例子会社を設立することにより、障害者が主役となった農業ビジネスモデルを確立。
- ○約3千m²のハウスにおいてサラダほうれん草などの葉菜類を水耕栽培することにより、周年で安定した作業を確保し、障害者8名を雇用。
- ○更に、施設外就労の場として、地域の他の福祉施設から年間延べ約5千人の障害者を受入。
- ○食品スーパーを中心に積極的に販路を拡大するのみならず、サラダほうれん草を使用したレトルトスープの商品開発等、高付加価値商品の加工・販売にも取組。

事例紹介④ 農業を通じた生活困窮者の自立支援
（NPO法人農スクール（神奈川県藤沢市））

- ○無農薬での農産物生産、農産物やその加工品のネット販売、体験農園の運営等に加え、生活困窮者等の就農支援を実施。
- ○ホームレス等の生活困窮者に加え、ひきこもりやニートに対して農作業研修を行い、その適性に応じて、農業法人への就農をあっせんする取組を実施。
- ○野菜栽培を通じて、栽培技術のみならず、忍耐力、コミュニケーション力等を習得するほか、達成感や自信を身につけることにより、労働意欲の回復を目指すトレーニング・プログラムを提供。
- ○これまで5人の研修者に就農をあっせんしたほか、10人は農業以外に就職。

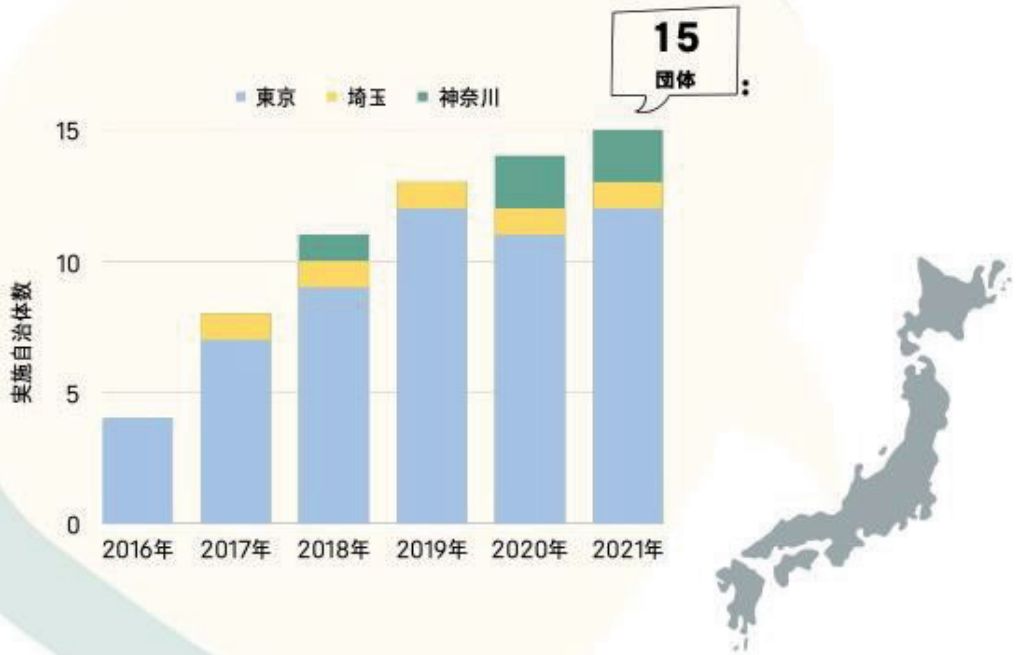
福祉分野に農作業を ～支援制度などのご案内～ 6

24

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

就農支援プログラムの広がり

他エリアでの就農支援プログラム実施数は年々増加
2023年は自治体・団体十数か所の就労支援の現場に
プログラムを提供



※実施自治体数には、農スクール及び提携する企業が提供している農業プログラムも含む

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

鎌倉市障害福祉課
農業就労体験セミナー

（2020年～現在）

26

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.

農福連携で
未来の農業を
一緒に
作っていきませんか？

Copyright © 2022know-school All Rights Reserved.